

ケアを紡いで

27歳でがんを患った看護師のゆずなさん。――

――これは、彼女から託された、日々の記録。



©大宮映像製作所

NPO法人「地域で共に生きるナノ」の仲間たちと時を重ね、命と向き合い、日々の暮らしを紡いでいく姿を描くドキュメンタリー映画です。

監督は『ただいまそれぞれの居場所』『夜間もやってる保育園』など、現代社会のさまざまなケアの営みと制度のありようを見つめる大宮浩一。撮影を手がけるのは『桜の樹の下』の田中圭。そして、この映画を企画したのは、医療の最前線で看護師として働いていたゆずなさん自身です。ゆずなさんは「AYA世代」。AYAとは Adolescent（思春期）& Young Adult（若年成人）の頭文字で、おおむね15歳から39歳のがん患者のこと。その多くが就学や就職、出産や育児などに直面し、大きな困難を抱えているにもかかわらず、医療費制度と介護保険の谷間で、経済的な支えとなる助成制度がほとんどありません。根治が難しい病状を熟知しているゆずなさんが私たちに伝えようとしたいくつもの葛藤とたしかかな幸福のかたちとは？

2023年11月26日（日）

会場：守谷市中央公民館（もりりん中央）ホール

開演：午前9時30分（開場9時）：午後1時30分（開場1時）

定員：各350名

料金：500円

（上映時間：89分）

鑑賞をご希望の方は右記のQRコードから事前登録をお願いします。

なお、最新情報は次のURLのサイトで確認して下さい。URL：<https://www.sungaku.net>

問合せ先 E-MAIL: yuan28003@gmail.com（原）



主催／守谷市文化協会「映画・講演の会」 後援／守谷市教育委員会

守谷市中央公民館は、つくばエクスプレス・関東鉄道常総線「守谷駅」から徒歩約8分です。駐車場は台数に限りがありますので、極力公共交通機関での来場をお願い致します。